

平成27年度専門研修（短期研修）講座の案内

平成27年度は、体育・スポーツ、健康教育等の専門的知識や技能の習得を図ることを目的とした19の専門研修（短期研修）講座を設定しました。全ての講座において、全国的にも著名な講師陣をお招きして、学習指導要領や現代的な教育課題に対応し、実践に役立つ内容を準備しています。特に平成27年度は、先生方のニーズにお応えして待望の1日講座（実技）を開設します。体育が苦手な先生や体力向上の方策を知りたい方等におすすめです。詳しくは、募集案内又は、体育研究所ホームページを御覧ください。多くの方の御参加をお待ちしております。

対象	講座名	期日	講師
幼	運動的な遊び（小可）	7月23日（木）～24日（金）	十文字学園女子大学 准教授 鈴木 康弘
小	体づくり運動	7月30日（木）～31日（金）	国士舘大学 教授 細越 淳二
	体育の授業づくり A	8月 5日（水）	日本体育大学 教授 白旗 和也
	体育の授業づくり B	8月 6日（木）	日本体育大学 教授 白旗 和也
特	ゲームの授業づくり（中・高可）	8月20日（木）～21日（金）	早稲田大学 准教授 吉永 武史
	浮く・泳ぐ運動、水泳（中・高可）	6月17日（水）	東海大学 准教授 大越 正大
小中特	体育の教材づくり	10月 1日（木）～ 2日（金）	信州大学 教授 岩田 靖
	保健の学習指導（高・養可）	9月29日（火）	兵庫教育大学大学院 教授 西岡 伸紀
中高特	ボール運動・球技（高可）	10月21日（水）～22日（木）	立命館大学 教授 大友 智
	ダンス（小可）	6月18日（木）～19日（金）	日本女子体育大学 准教授 宮本 乙女
	体育理論	10月 8日（木）	筑波大学 教授 菊 幸一
小中高特	体育的学力を育む授業づくり(小可)	7月27日（月）～28日（火）	愛媛大学 准教授 日野 克博
	体づくり運動	8月 5日（水）～ 6日（木）	日本体育大学 准教授 近藤 智靖
小中高特	特別支援の視点に立った体育の学習	10月30日（金）	東海大学 准教授 内田 匡輔
	健康教育（養・栄可）	8月21日（金）	茨城大学 准教授 上地 勝
	体力向上の方策	7月29日（水）	岩手大学 准教授 清水 将
養	学校体育経営	9月30日（水）	鹿屋体育大学 教授 佐藤 豊
	養護教諭の資質向上	7月28日（火）	名古屋学芸大学 教授 采女 智津江
教職員一般	トレーニング指導者研修会（一般可）	10月22日（木）	清家渉クリニック スポーツクター 清家 渉

短期研修講座の様子（平成26年度）

講師 東海大学 内田 匡輔 准教授



〈受講者の声〉
特別支援の視点に立つという意味を改めて考えさせられました。今回の講座内容をこれからの授業実践に生かしていきたいです。

講師 名古屋学芸大学 采女 智津江 教授



〈受講者の声〉
受講するたびに「よし！！2学期からもがんばろう」と意欲が増します。あれをしたい！これをしたい！こうしてみよう！と思います。

ホームページの紹介

ホームページでは、主な事業内容を中心に情報を掲載しています。ぜひ御覧ください。

〈調査研究事業〉
過去の調査研究をまとめた研究報告書をダウンロードできます。

〈研修事業〉
専門研修講座、基本研修、長期研修等の内容を紹介しています。



学校への支援活動

体育研究所では、学校を支援するために次のような活動を行っています。お気軽に御相談ください。

- 研修会等への指導主事の派遣及び講師の紹介
- 体育・スポーツに関する資料、視聴覚教材の収集及び貸出
- 来所、電話等による相談への対応
- カリキュラム作成に関する支援
- サークル活動への支援

平成26年度支援回数190回（H27 3月6日現在）

平成26年度 体育研究所だより

福岡県体育研究所
〒812-0852
福岡市博多区東平尾公園 2丁目1-4
電話 (092) 611-0220
FAX (092) 611-1747
E-mail : taiikukenyusho@pref.fukuoka.lg.jp

～ 所長挨拶 ～



平成27年2月13日に福岡県体育・スポーツ研修報告会を開催し、県内外より270名の方々に御参加いただきました。おかげをもちまして、盛会のうちに終えることができましたこと、心より御礼申し上げます。今回、独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長河野一郎先生に、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けて」と題して、御講演いただきました。国でもすでに、2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、スポーツ庁の設置を始め、トレーニング環境の整備や選手の育成強化、オリンピックムーブメント普及等について、議論が進み、取組が始まっています。このような動きをただ単に、大会成功へ向けた歩みと捉えるのではなく、この機運に乗じて、子どもたちの運動・スポーツに対する関心や意欲の更なる向上を図るとともに、体育・健康に関する指導をより一層充実させ、大会後に確固たる「レガシー」を残していくことが重要となります。

このような視座に立ち、現在本所では調査研究、教職員研修、学校支援等の事業の更なる推進を図っているところです。その中でも特に、本県の子どもの体力の状況を打破するために取り組みました調査研究事業「体力アップ福岡モデル」は、本年2月に調査研究を終え、4月には皆様のお手元に報告書をお届けする運びとなりました。各学校において、子どものスポーツ機会の充実や、体力向上への取組に御活用いただき、本県の子どもの体力向上の一助となることを願っております。

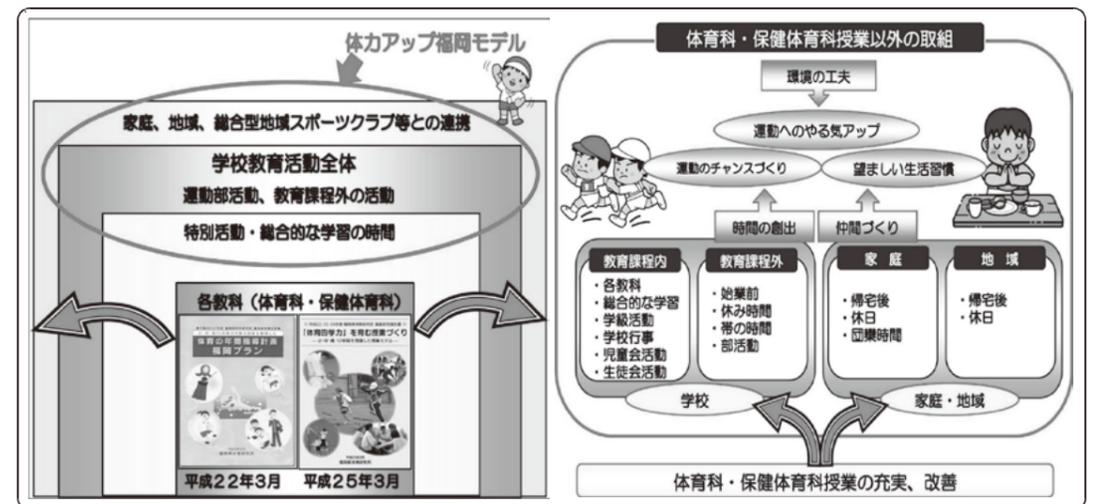
今後も国や県の動向を見据えた情報の整理、発信に努めるとともに、本県の体育・スポーツ、健康教育の充実に寄与できるよう、所員一同、一層努力してまいりますので、関係各位の御支援・御協力をお願いいたします。

福岡県体育研究所 所長 寺崎 雅巳

福岡県体育研究所の事業概要

調査研究事業

平成25・26年度調査研究事業「体力アップ福岡モデル」 ～体力の向上を図る学校教育活動～



今回の調査研究は、上の2つの図にあるように、子どもの運動意欲を喚起し運動の日常化を図っていくために、体育科・保健体育科の授業を土台としながら、体育科・保健体育科の授業以外の取組を充実させていくことを重要視しています。そこで、学級活動や学校行事等の教育課程内の時間、休み時間や部活動等の教育課程外の時間、さらには、帰宅後や休日等の家庭や地域での時間を活用するとともに、運動（遊び）やスポーツを誘発するような環境の工夫も取り入れながら、運動意欲を喚起し、運動機会を創出していく取組の実践モデルを提案しています。

■ 調査研究報告書の概要

本調査研究報告書は以下の3章で構成されています。

○第1章 「実践編」

学校や児童生徒の実態等に合わせて、どのような取組が参考になるかといった方向性を確認するためのチェックシートや、体力向上プランを作成する際の目標指数や数値、計画の立て方等の情報を提供しています。さらに、体育科・保健体育科の授業以外での体力向上に係る実践モデルを、合計40モデル紹介しています。

○第2章 「授業編」

本所では平成22年3月に「体育の年間指導計画福岡プラン」、平成25年3月に「体育的学力を育む授業づくり」といった具体的な授業づくりに関する報告書を発行してきました。今回の授業編では、各学校における授業研修会の実施例や、授業づくりに関する指導資料集等を紹介しています。

○第3章 「分析編」

全国体力・運動能力、運動習慣等調査や福岡県児童生徒体力・運動能力調査等をもとに、福岡県の実態や福岡県の中でも体力の高い学校や、その学校に所属する児童生徒の実態を分析しています。実践編作成の根拠となったデータをまとめています。

■ 実践モデル例の紹介

モデル9 休み時間(昼休み)・児童会(生徒会)活動
～○○小(中高)スポーツ集会Ⅱ～

1 こんなことをやってみました!

児童会(生徒会)主催で学期に1～2回、運動(遊び)やスポーツに係る集会活動を位置付けました。

色んな集いを開催することで、様々な運動経験が積まれ、運動やスポーツの楽しさを味わいました。

2 もっとくわしく教えるよ!

○児童会(生徒会)主催の運動(遊び)に係る集会活動の例

5月	遊んで友達増やそう集会(伝承遊びを中心に)
6月	スポーツスタンプラリー集会
10月	ニューススポーツ集会1
12月	ニューススポーツ集会2
2月	校内駅伝集会

基本的な進め方

- 1つの委員会でなく各種委員会で分担して主催する。
- 基本的に集会活動として1単位時間確保する。
- 代表委員会等で内容等について確認する。

「遊んで友達増やそう集会」

けん玉、ゴム遊び、タイヤ風

伝承遊びを中心に、いくつかのブースを校内に設置しています。

- 同時に区切り、各グループがブースを回って各種の伝承遊びを体験しています。
- 図書資料等を活用し、ブースでの遊びを計画しています。
- 各ブースでの運営は、各種委員会が中心に行っています。

「スポーツスタンプラリー集会」

チャレンジクイズ、的当て(投げ)、的当て(蹴る)、ストックアフト、大縄、登り棒

- 複数のチャレンジ課題を設定したブースを校内に設置しています。
- 課題をクリアできたらスタンプを獲得できるようにしています。
- グループでいくつのスタンプを獲得できるかで競争しています。

「ニューススポーツ集会」

アジャタ、キンポール、グラウンドゴルフ

- ニューススポーツを体験しています。
- ゲストティーチャー等を招くことができる場合は活用しています。
- 多様なニューススポーツがあるので、学校、地域、子どもの実態などを考慮して選定しています。

○ベタタンク ○カローリング ○ディスクゴルフ ○インディアカ ○クロリティー

3 こんなことに気をつけて!

全校児童の多い学校は、学年ごとの開催、全校児童の少ない学校は各学年開催等、実態に応じて開催するといいたすね。

誰でも挑戦できるように、簡単にできるような種目(遊び)を考えましょう。テレビ番組や図書の本等が参考になりますね。

・左のように、内容が一目で分かるように見開き2頁で構成しています。

・絵や写真を活用して取組内容が伝わるように工夫しています。

・「こんなことをやってみました!」「もっとくわしく教えるよ!」「こんなことに気をつけて!」と大きく3部で構成しています。

・『学校で運動(遊び)・スポーツへのきっかけづくり』、『家庭や地域で運動(遊び)・スポーツへのきっかけづくり』、『望ましい生活習慣の定着』といった3つの柱をもとにして楽しい取組モデルを紹介しています。

■ 報告書の活用について

この調査研究事業の報告書は、来年度初旬には、各学校及び関係機関に配布するとともに、本所ホームページにアップロードする予定です。本報告書を参考にして、各学校において一校一取組を位置付けた「体力向上プラン」を作成していただきたいと思ます。

今後、各学校において、「福岡プラン」及び「体育的学力を育む授業づくり」の活用により、体育科・保健体育科授業の更なる充実・改善が図られるとともに、本報告書「体力アップ福岡モデル」の活用で、授業以外の取組が充実することで、運動やスポーツの習慣化、日常化につながっていくことを願っています。

基本研修

福岡県教育委員会は、教員の研修体系に基づき、基本研修を実施していますが、本所では、体育・健康教育に関する内容について、実践的指導力の向上を図りました。

- 小学校 初任者研修・10年経験者研修
- 中学校 初任者研修・10年経験者研修
- 高等学校 初任者研修・2年経過教員研修
5年経過教員研修・10年経験者研修
- 養護教諭 新規採用養護教諭研修・教職経験5年経過養護教諭研修・養護教諭10年経験者研修



他の先生方の授業実践の工夫や指導と評価の具体についての講義が大変勉強になりました。

断続研修

■ 保健体育研修講座

保健体育研修講座は、外部講師を招聘して、体育科・保健体育科の授業づくりや体育・スポーツ行政に関する講義を行うとともに、小・中・高の異校種での課題研究や検証授業について協議を行う等、大変充実したものとなりました。

- | | | | |
|-------------|-------|-------------|-------|
| 宗像市立大島小学校 | 松木 大輔 | 太宰府市立国分小学校 | 大浦 俊祐 |
| 直方市立感田小学校 | 片石 智哉 | 筑前町立東小田小学校 | 久保田武志 |
| 筑後市立松原小学校 | 廣重 弘一 | 飯塚市立幸袋小学校 | 田中 洋子 |
| 筑前町立三輪中学校 | 二又 清成 | 苅田町立新津中学校 | 向野 文章 |
| 福岡県立久留米高等学校 | 堤 美樹子 | 福岡県立武蔵台高等学校 | 中村 真悟 |



■ 養護教諭研修講座

養護教諭研修講座は、外部講師を招聘しての講義の他、演習や協議を多く取り入れる等、実践的な研修を重ねました。また、課題研究にも取り組むことで、今までの実践を省察する機会にもなりました。

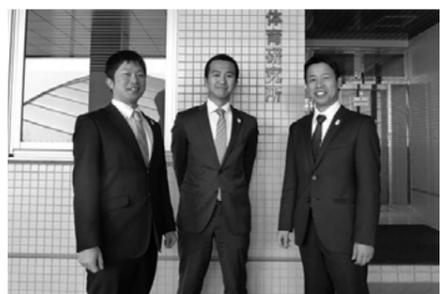
- | | | | |
|------------|-------|--------------|-------|
| 篠栗町立篠栗小学校 | 松田 悦子 | 朝倉市立朝倉東小学校 | 鷲頭 明 |
| 嘉麻市立稲築西小学校 | 中原 美和 | 須恵町立須恵東中学校 | 尾関 重乃 |
| 久留米市立青陵中学校 | 執行 泰子 | 福岡県立福岡工業高等学校 | 大谷 希 |



長期派遣研修

本年度の長期派遣研修員は、児童・生徒の体力・運動能力における課題や体育科・保健体育科の担うべき役割を整理し、「運動好きの子どもを育てたい」という願いをもって、研究に取り組みました。小学校は、「投げる」動きを高めるゲーム領域の学習指導を、中学校は、表現する楽しさを味わう生徒を育てるダンス領域の学習指導を、高等学校は、ICTを活用して主体的な学びを促す「体づくり運動」・「バドミントン」の学習指導の研究を進めてまいりました。

研究成果については、2月13日(金)に行われた「福岡県体育・スポーツ研修報告会」で報告しました。



■ 小学校

体育の授業づくりの難しさを感じながらも、多くの方々の温かな支えにより、何とか報告書にまとめることができました。また、様々な方々との出会いを通して自分自身の視野を広げることができました。貴重な経験をさせて頂き、本当に感謝しております。

八女市立上妻小学校 教諭 宮原 健次

■ 中学校

この一年間、自分自身の勉強不足を痛感しながらじっくりと研究に向き合うことができ、貴重な経験をさせていただきました。今は感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、体育研究所で学んだことを生徒たちに還元し、さらなる研鑽を重ねてまいります。

嘉麻市立稲築東中学校 教諭 佐藤 祐樹

■ 高等学校

ICTを活用した研究に取り組む中で、何度も悩み、書き直した報告書から、保健体育科教諭として生徒へ伝えなければならないことを学ぶことが出来ました。教師として経験が少ない私に、このような貴重な研修を受けさせていただいたことに心から感謝いたします。

福岡県立糸島高等学校 教諭 横井 孝史